コミュニティセンター報

なおえ。

No.195
2026.9.20

なかまを　おうえんする　えがおのまちづくり

いっしょに進もう！ みんなでまちづくり！

発行／直江コミュニティセンター TEL:72-5282 FAX:72-5286
E-mail:naoe-cc@local.city.izumo.shimane.jp

直江地区の世帯と人口
令和8年7月31日現在
世帯数……1,765
人　口……3,994
（男性）……2,002
（女性）……1,992

直江コミセン　検索

7/27~29　8/24~25

直江地区社会福祉協議会・直江地区青少年育成協議会

夏休み子ども自学デー





夏休み中の子どもの居場所づくりの一環として、今年初めて「夏休み子ども自学デー」を実施しました。これは、コミセン集会室を会場に、子どもが自分で学習する内容を準備して自学する教室です。参加者は46名、夏休みの課題や自学ドリル、読書など思い思いに時間を過ごしていました。また、運営スタッフとして地域の方、民生委員児童委員、中学生など21名に協力いただきました。初年度は、コミセンに来てくれたことや子どもたちと地域の大人が繋がったことが成果だと思っています。今後もニーズにあった子どもを育てる地域の取組を進めていけたらと思います。

8月23日（日）

自主企画事業　高齢者・子ども支援部

木に学び木で遊ぶ
～親子でチャレンジ！モノづくり～









8月23日に11組の親子などが参加し、拝藤建具店の拝藤順さんを講師に迎え、夏休み恒例の「木に学び木で遊ぶ～親子でチャレンジ！モノづくり～」を開催しました。今年の作品は小物入れ。拝藤さんから作業の説明やノコギリの使い方を聞いた後、ノコギリで切ったり、釘を打ったりしながら製作しました。慣れないノコギリや釘打ちに苦戦する子もいましたが、親子や家族で声を掛け合い、協力しながら作業を進め、予定よりも早く完成することができました。どの作品も素敵な小物入れに仕上がり、木に触れながら、モノづくりの楽しさを体験しました。夏休みの素敵な思い出になったことと思います。



夏休みなおえ子ども教室

主催：直江地区青少年育成協議会

青少年協議会では、この夏休み、小学生を対象に「陶芸教室」「絵手紙教室」「松江高専出張講座」を開催しました。陶芸や絵手紙の創作活動では子どもたちの豊かな感性が光り、出張講座では石こうを使った創作活動を行い、科学の不思議を前に驚きと発見の声が上がりました。どの教室・講座でも、子どもたちが目を輝かせて新しいことに挑戦し、夢中になって取り組む姿が非常に印象的でした。今年の夏も地域の中で多様な体験に触れ、充実した夏休みの思い出を作ってくれたことと感じています。ご指導いただいた講師の皆様、そして各事業を支えてくださった地域の皆様に心より感謝申し上げます。これからも子どもたちの笑顔のために、様々な活動を続けていきたいと思います。



7月29日(水)　8月6日(木)　8月17日(月)

ご指導：直江陶芸クラブのみなさま

陶芸教室

個性あふれる素敵な作品ができあがりました。







8月5日(水)

共催：直江地区社会福祉協議会

ご指導：直江絵手紙の会のみなさま

絵手紙教室

野菜や果物等を題材に色鮮やかで心のこもった作品ができあがりました。







8月19日(水)

ご指導：松江高専職員さま

松江高専出張講座

石こうを使って恐竜や動物などの作品を作りました。ドローンの体験も行いました。

防災講演会を開催しました。

7月2日(木)

主催:直江地区災害対策委員会　講師:日本防災士会島根県支部　伊藤輝昭 防災士

講演「みんなでつくろう!地区防災計画 ～家族を守り まちを守る～」





7月2日に災害対策委員会が開催され、出水期における防災体制を確認するとともに防災講演会を通じて地域防災計画について学ぶ機会がありました。

講演では、地域の特性をよく知っている住民自らが「地区防災計画」を策定し、市町村の防災会議に提出するというボトムアップ型とすることにより、地区防災力を向上させていくことが大切であると説明がありました。

直江地区においても、現在「2026年度版直江地区防災計画」を策定中であり、「自分たちの地区は自分たちで守る」という心構えで、地区のみんなで助け合いながら、災害時の被害を最小限とする「減災」の考え方を防災の基本方針とし、災害に強いまちづくりを進めてまいります。







主催:直江コミセン自主企画事業(高齢者・子ども支援部)

講師::島根県立中央病院 老人看護専門看護師　立原 怜さん、岡 愛さん

人生会議について学ぼう

6月30日(火)

島根県立中央病院の老人看護専門看護師を講師にお迎えし、「はじめませんか？人生会議」をテーマにご講演いただきました。人生会議とは、もしものときに備え、自分が大切にしていることや、どのような医療やケアを望むのかを家族や身近な人と話し合うことです。講話では、人生会議の進め方や話し合う際のポイントについて、ご自身の経験を交えながら分かりやすくお話しいただきました。また、「もしバナゲーム」を活用したグループワークでは、参加者同士が意見を交わしながら、和やかな雰囲気の中で学びました。自分らしい生き方や望むケアについて考え、身近な人と話し合うことの大切さを改めて感じる有意義な時間となりました。

6月11日(木)

7月14日(火)



西中花活動

行事:斐川西中学校花活動

参加団体:出雲市環境保全連合会直江支部

環境保全連合会直江支部の皆さんと西中の生徒さんたちが一緒に苗をポットへ植え替え、育った苗をプランターへ移植しました。西中にお立ち寄りの際は、花々に彩られたフラワーロードをお楽しみください。





視察先：国立療養所長島愛生園（岡山県）

直江地区人権・同和教育推進協議会、
運営委員会、事業委員会　合同研修

5月28日（木）

人権課題について正しい理解を
～長島愛生園（岡山県）視察研修～





1974年公開の映画「砂の器」をご覧になった方も多いと思います。奥出雲町亀嵩がロケ地の一つになり何回かリバイバル上映もされました。映画の後半、美しい四季折々の風景の中を、ハンセン病にり患した父と子が巡礼姿で放浪の旅するシーンは強く印象に残っています。私はこの映画を見て、初めてハンセン病問題を知りました。

ハンセン病問題は、国の政策の誤りが大きな原因です。1907年（明治40）「癩病予防ニ関スル件」が制定され、1996年（平成8年）に「らい予防法」が廃止されるまで、国は89年もの長い間隔離政策を続けてきました。また、各県でも無癩県運動（らい病患者がいない県をめざして県が競って患者を収容する運動）が続き、ハンセン病はうつりやすい怖い病気だという誤解が社会に広まったのです。ハンセン病は治療薬も生まれ、治る病気であったにも関わらず、長年の誤った情報により根深い偏見が生み出され、ハンセン病患者の方は社会からの隔絶を余儀なくされました。

長島愛生園は、ハンセン病患者の隔離施設として1930年（昭和5年）に国立療養所として建てられた施設です。長島愛生園の視察研修は平成28年に続き2回目ですが、今回は16名参加いただきました。今回は、ハンセン病に関わる資料や差別の歴史・実態についての解説を聞きながら現存する施設を3時間かけて見学しました。そして、“知らないことは怖いこと→怖いことは忌避すること→忌避することは差別に”という差別の構造の根っこを学びました。数年前の新型コロナウイルス蔓延時に、医療従事者などのエッセンシャルワーカーをはじめ誹謗中傷に苦しんだ人たちが生まれたのも同じ構造でした。新型コロナウイルスに対する正しい理解がないために、誤った情報が拡散し、いわれのない偏見・差別が助長されたのです。

差別がいけないことは頭でわかっているけれど…といいがちですが、そのわかっていることが、本当に正しい理解でしょうか？正しい情報か見極め、さまざまな人権問題について正しく知ることが差別をなくす一歩だと思います。**「誤った知識や理解不足からいわれのない差別や偏見が生まれるのはハンセン病に限ったことではありません。いかなる病気であっても、それを理由に人としての権利が損なわれることがあってはなりません。正しい知識のないことは恐怖につながり、人は差別によって恐怖を遠ざけようとします。同じ過ちを繰り返さないためにも、一人ひとりが自分事として考えることが必要です。」**（島根県の人権啓発リーフレットより）

（文責：直江地区人権・同和教育推進協議会　石原）

おめでとうございます。

出雲地区防犯協会会長表彰

直江・久木地区
地域安全推進員連絡会 様



令和7年度中、地域安全活動を積極的に推進し、子どもの安全確保や安全な地域づくりに貢献された功績に対して表彰状が授与されました。おめでとうございます。



お願い　コミセンでは、行事やイベントの際に写真撮影をし、コミュニティセンター報やホームページに掲載しています。ご理解ご協力をお願いします。

直江コミュニティセンターからのご案内

●近日開催イベントについて

※詳細については配布チラシにて
お知らせいたします

★直江地区文化祭……10月18日
★なおえ健康ウォーク……11月1日
★直江地区カローリング大会……11月8日
★高齢者交通安全教室……11月26日

※天候などの影響で変更や中止になる場合があります。

ご寄付のお礼

直江地区自治協会へご寄付をいただきました。
〔香典返し　金一封〕（届出順）

・内田 淳一 様（内田 幸江 様 / 令和8年7月）堀切
・小玉 悟司 様（小玉 康夫 様 / 令和8年8月）中町
・宮西 有美 様（宮西 朋典 様 / 令和8年8月）神奈美

（　）内は故人

ありがとうございました。

直江地区自治協会を通じて社会福祉団体等へ配分し、有効に活用させていただきます。